



令和5年10月18日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第27号

「主体的・対話的で深い学び」を目指しています ～上田先生が研究授業を行いました～

全国の学校では、「主体的・対話的で深い学び」をしている生徒の姿が見える授業を目指しています。「主体的・対話的で深い学び」とは、「学ぶことに興味をもって、自分の意見を発表し仲間と意見交換することで、今までの知識と新しい知識を結び付けて自分の考えを創り上げていく学び」のことです。

難しく聞こえるかもしれませんが、昔から目指されており、現在は更に重要視されています。これからの世の中は変化が激しく、今までの考えが通用しなかったり、必ずしも正解がなかったりします。このことから「主体的・対話的で深い学び」は重要であり、本校では研究授業を行ったり、教員が互いの授業を見せ合ったりすることで、授業力の向上と授業改善を目指しています。

10月3日(火)、東京大学 植阪 友理 准教授、広島大学 深谷 達史 准教授に來校していただき、上田 真梨子 先生が研究授業を行いました。

研究授業は2年生の「バレーボール」でした。バレーボール自体難しい競技ですが、「ポイントを押さえてスパイクを打てるようになるろう」を目標としていました。

上田先生は、3つのポイントを1つずつ押さえて、少しずつ上達していくことを自覚できるよう指導されていました。また、生徒は互いのプレーをタブレットで動画撮影し、自分のプレーを何回も見比べながら、ポイントを意識できているか、どこが課題でどこが上達しているかなどを見つけて、互いに指摘しあいながらスパイクの練習に熱心に取り組むことができました。



上田先生の保健体育の授業を行う上でのポリシーは、「授業中、なるべく体を動かす時間を確保すること。」「授業を生涯スポーツへ繋いでいくこと。」です。このようにポリシーをもって、創意工夫しながら授業改善する姿勢は本当に素晴らしいと思います。

これからも蒲刈中学校の生徒のために、教育に邁進してほしいと願っています。生徒の皆さんも保健体育の授業を楽しみにして、生涯、身体を動かし健康で過ごすことの大切さをしっかり学んでください。



授業交流週間を実施しました ～互いの授業を参観し研修します～

呉市には25校の中学校がありますが、本校を含め各学年1学級の小規模校は多くあります。小規模校では、各教科の先生は1人であるため、自分と同じ教科の授業を参観する機会は限られています。しかし、他の教科の授業を参観する方が、生徒への有効な指導・助言を学ぶことは多く、授業の根本となる生徒への接し方などについて研修することができます。本校では、10月2日（月）から10月13日（金）までを「授業交流週間」として、教職員が小グループに分かれて互いの授業を参観し、協議することを行っています。

生徒の皆さんは、何人もの先生方が参観する中の授業でしたが、いつもどおり熱心に学習に取り組んでいました。

学習発表会（中学校の部）のご案内

- 1 日 時 令和5年10月22日（日）
- | | |
|--------------------|-------------|
| 作品展示の鑑賞（体育館、校舎内各所） | 8：30～9：00 |
| 道徳参観（各教室） | 9：10～10：00 |
| 学級懇談会（各教室） | 10：00～10：15 |
| 発表会（体育館） | 10：30～12：00 |
- 2 場 所 呉市立蒲刈中学校 体育館
- 3 その他 駐車場は「小市の浜」（保護者用）を、駐輪場は「小学校放課後児童会の敷地」をご利用ください。

発表会プログラム【10：30～12：00】

- 1 開会式 ○開会宣言 ○校長先生挨拶 ○生徒会長挨拶
- 2 ステージ
- (1) 「総合的な学習の時間」発表
- | | |
|--------------------------|-----|
| 「となりのまちへ 行ってみよう」 | 1学年 |
| 「キャリア・スタート・ウィーク～職場体験学習～」 | 2学年 |
| 「進路について」 | 3年生 |
- (2) 全校合唱「時を越えて」 全学年
- (3) 蒲中太鼓 上蒲刈太鼓「冬」、下蒲刈太鼓「海神」 全学年
- 3 閉会式 ○PTA会長挨拶 ○教頭先生挨拶 ○閉会宣言

